



星和電機株式会社

<http://www.seiwa.co.jp/>
京都府城陽市寺田新池36番地
TEL: 0774-55-8181

経営理念

人材の開発と相互信頼に努め、
新技術に挑戦して、
社会に貢献する。

株主のみなさまへ	1
事業別の概況(連結)	3
トピックス	5
財務の状況(連結)	7
会社概要	9
株主メモ	10

株主のみなさまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて当社グループ第70期第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の事業が終了しましたので、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期におけるわが国経済は、輸出の緩やかな増加基調が続くなか、企業業績や設備投資も堅調に推移し、雇用・所得環境も改善傾向が続き、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、米国の政権運営の不安定さや東アジア地域の情勢など懸念材料も多く、景気の先行きは依然として不透明な状況にありました。

このようななか、当社グループにおきましては、設計開発力向上と製品リリースの迅速化、生産性向上などによる競争力ある生産体制の確立、製品品質の向上を図るとともに、新商品企画の促進、ソリューション営業の実践により収益体質の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は80億51百万円(前年同期比1.6%増)、経常損失は7億18百万円(前年同期は3億36百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半

期純損失は5億62百万円(前年同期は7億70百万円の損失)となりました。

中間配当については、従来どおり見送りとさせていただきますので、ご了承のほどお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、東アジア地域の情勢や海外景気の動向など不安定要因もありますが、企業業績の堅調な推移を背景に、設備投資や雇用環境の改善は継続し、景気は緩やかな回復基調が続くと予想されます。

このような状況のもと、ソリューション営業の実践とマーケティング力の強化を進め、顧客満足度の向上と新商品企画の促進を図り、生産性の向上によるコスト競争力の強化に努めて利益の確保に取り組んでまいります。

さらに、全事業分野にわたり社会の発展に寄与する独創的な商品の提供はもとより、省エネルギーを実現する商品の開発を促進し、地球環境に向けた取り組みを進めるとともに、品質・安全性の確保を図り、顧客満足の一層の向上に努めてまいります。なかでも照明分野では、従来の光源からLED光源への置き換えが進み、LED照明は住宅用途から店舗、施設、道路へと幅広く拡大しています。当社におきましても市場のニーズ

に応えるため、主力である防爆形、防水形などの産業用照明器具、道路・トンネル照明器具のLED化を推進し、様々な用途に対応するべく新製品開発や提案営業活動を積極的に展開してまいります。

また、ひきつづき全社を挙げて内部統制の確立、コーポレートガバナンスの強化、コンプライアンスの徹底に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成29年12月

取締役社長

増山晃章



事業別の概況(連結)

情報機器事業

20億35百万円(前年同期比 25.4%減)

主要製品

- 情報表示システム
- トンネル防災システム
- LED式信号機

この事業の主力製品であります道路情報機器において、高速道路向けの売上が前年同期に比べ減少しました。



照明機器事業

31億13百万円(前年同期比 45.1%増)

主要製品

- 照明器具
- 制御機器
- LEDモジュール製品

民間設備投資関連の産業用照明器具においては、LED照明器具の売上が順調に推移し前年同期に比べ増加しました。



一方、公共投資関連においては、トンネル照明器具を中心に売上が前年同期に比べ増加しました。

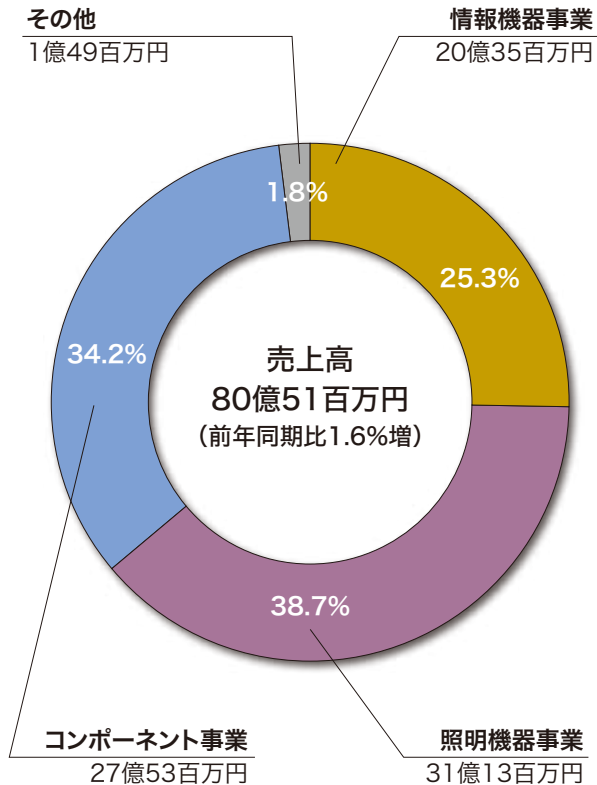
コンポーネント事業

27億53百万円(前年同期比 7.0%減)

主要製品

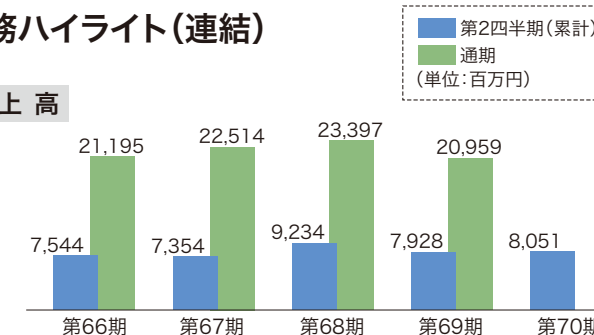
- 配線保護機材
- 配管保護機材
- 電磁波環境部品

エアコン用の配管保護機材と配電盤や機械装置に用いる産業用配線保護機材は前年同期に比べ増加しましたが、監視カメラ関連製品の売上は減少しました。また、電磁波環境部品は前年同期に比べ増加しました。

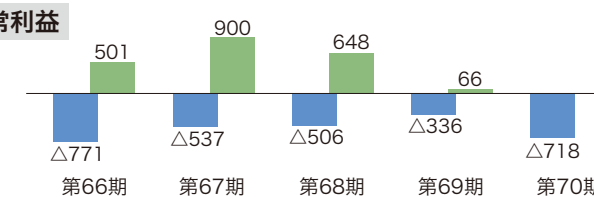


財務ハイライト(連結)

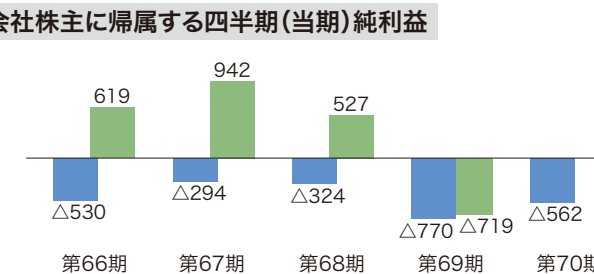
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



JNLA試験事業者に登録

安定した測光能力を有する試験所

照明事業部光学試験所が、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)より、試験事業者として登録されました。

工業標準化法試験事業者登録制度(JNLA)とは、試験所に関する要求事項に対し、品質システムと試験施設が正しい性能を提示できる測光能力を有する試験所であることを書類審査・現地審査により認定する制度です。

照明器具メーカーで配光測定方法(JIS C 8105-5)によるJNLA試験事業者として、当社は全国で5社目の登録となりました。

公的に認められ品質の安定した試験事業者として、星和のブランドを高めてまいります。



新名神 城陽～八幡京田辺間 開通

新名神高速道路に各種製品を納入

平成29年4月30日に「新名神高速道路 城陽～八幡京田辺間」が開通しました。

開通区間は3.5kmと短いですが、京都縦貫道との接続も容易になり、京都府を南北に貫く効果は大きく、今後地域産業の活性化などが期待されます。

当社からは、アルミ筐体新型情報板や道路灯、低位置照明などを納入しています。

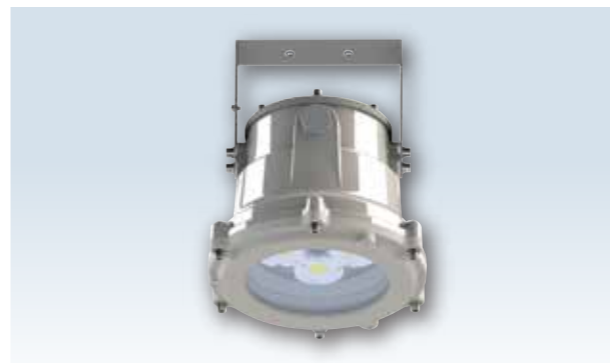


防爆形LED灯器具 LZWAシリーズを発表

国際規格を取得した海外専用モデル

ベース照明器具としては国内業界初の国際防爆認証製品となる、防爆形LED灯器具(LZWAシリーズ)を開発、発売しました。国際防爆認証IECEX(IEC60079-0,-1)、欧州防爆認証ATEXを取得した機種や中国防爆認証NEPSIを取得した機種もラインナップしました。

本製品は従来の蛍光灯器具と同等の照度・配光を確保しつつも、コンパクト・軽量のデザインを実現しており、幅も高さも30cm以内、重量はたったの5kgとなっています。これにより、設置作業の負担軽減や受圧面積が小さくなることによる安全性の改善が図れます。



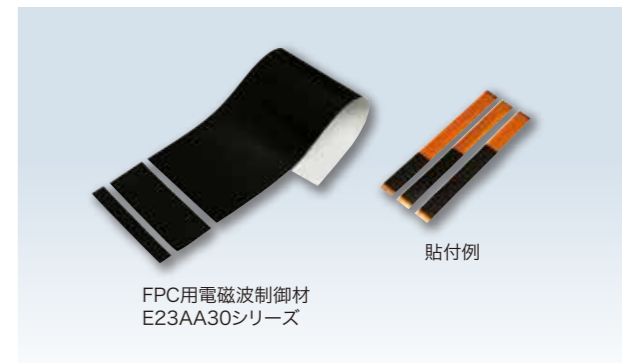
FPC用電磁波制御材を発売

ノイズ対策製品を拡充

パソコンやスマートフォン等に使用されているフレキシブルプリント配線板(以下FPC)の、電磁波ノイズ対策製品としてFPC用電磁波制御材(E23AA30シリーズ)をリリースしました。

本製品は、従来のシールドリング(シールド材)の原理では無くフィルタリングの原理である為、FPCのグランド部との接続が不要となり設計変更なく対策する事が可能です。

また、耐熱性があり、FPCに貼付後のリフローが実施できます。



FPC用電磁波制御材 E23AA30シリーズ

貼付例

財務の状況(連結)

連結貸借対照表

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期末 平成28年9月30日現在	当第2四半期末 平成29年9月30日現在	前期末 平成29年3月31日現在
[資産の部]			
流動資産	12,001	15,427	16,036
固定資産	6,939	7,496	7,204
有形固定資産	2,888	3,148	2,951
無形固定資産	633	608	645
投資その他の資産	3,417	3,738	3,608
資産合計	18,941	22,924	23,241
[負債の部]			
流動負債	7,302	11,546	10,826
固定負債	2,736	2,729	3,175
負債合計	10,039	14,275	14,002
[純資産の部]			
株主資本	8,294	7,662	8,345
資本金	3,380	3,380	3,380
資本剰余金	3,675	3,675	3,675
利益剰余金	1,439	807	1,491
自己株式	△200	△200	△200
その他の包括利益累計額	590	968	877
非支配株主持分	17	17	16
純資産合計	8,902	8,648	9,239
負債・純資産合計	18,941	22,924	23,241

連結損益計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	前期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
売上高	7,928	8,051	20,959
売上原価	6,579	6,995	16,912
売上総利益	1,348	1,056	4,047
販売費及び一般管理費	1,687	1,769	3,956
営業利益又は営業損失(△)	△338	△713	90
営業外収益	92	76	138
営業外費用	90	82	163
経常利益又は経常損失(△)	△336	△718	66
特別利益	3	11	5
特別損失	522	25	570
税金等調整前 四半期(当期)純損失(△)	△855	△732	△498
法人税、住民税及び事業税	18	21	94
法人税等調整額	△103	△192	127
四半期(当期)純損失(△)	△771	△561	△720
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期(当期)純損失(△)	△0	0	△1
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純損失(△)	△770	△562	△719

連結キャッシュ・フロー計算書

百万円単位、単位未満は切り捨て

	前第2四半期(累計) 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	前期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,025	△1,012	1,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	△431	△438	△724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,884	1,252	△1,200
現金及び現金同等物に係る換算差額	△32	△2	△4
現金及び現金同等物の増減額	△322	△201	△118
現金及び現金同等物の期首残高	2,374	2,255	2,374
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	2,051	2,053	2,255

会社概要

会社の概況(平成29年9月30日現在)

商号 星和電機株式会社
 英文名称 SEIWA ELECTRIC MFG. CO., LTD.
 創業 昭和20年10月1日
 資本金 33億80百万円

事業所

本社・工場 京都府城陽市寺田新池36番地
 北海道支社 札幌市中央区大通西7丁目1番地1
 東京支社 東京都台東区柳橋二丁目19番6号
 中部支社 名古屋市東区葵一丁目26番8号
 関西支社 大阪市西区鞆本町一丁目4番12号
 営業所 盛岡・仙台・新潟・京都・高松・
 広島・福岡

役員(平成29年10月1日現在)

取締役社長(代表取締役)	増	山	晃	章
常務取締役	乾		勝	典
常務取締役	望	月	友	彦
取締役	正	林	啓	志
取締役	春	山	雅	彦
取締役	寺	垣	敬	司
取締役(監査等委員)	佐	野	廣	一
取締役(監査等委員)	中	野	淑	夫
取締役(監査等委員)	益	満	清	輝

※中野淑夫および益満清輝は社外取締役であります。

執行役員(平成29年10月1日現在)

執行役員	八	木	舜
執行役員	古	田	雅也
執行役員	竹	之	内
執行役員	小	林	光彦
執行役員	宮	下	浩幸
執行役員	成	平	雅良
執行役員	芦	田	幸弘
執行役員	谷	口	二朗
執行役員	河	合	浩二
執行役員			隆

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 6月
 基準日 定時株主総会 3月31日(その他必要があるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。)

期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日

単元株式数 100株
 株主名簿管理人 みずほ信託銀行株式会社
 同事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

公告方法 当社のホームページ(<http://www.seiwa.co.jp/>)に掲載します。
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載します。

お問い合わせ先

	証券会社等の口座で株式をお持ちの場合	特別口座に記録された株式をお持ちの場合
郵便物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	※支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」と同じ郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません。 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	